

SEEDS

 知床財団
SHIRETOKO NATURE FOUNDATION

No.247
2020 / 秋号

E-BIKEで感じる知床
自然特集



活動紹介
森づくりの新たなチャレンジ
アカエゾマツの森を樹種多様な森へ

知床・人・インタビュー第42回
梅澤悦子さん

第3回 スタッフの彩色 ~いろいろ~

知床財団購買部

知床財団 × 株式会社一千乃 シレトコ はりこーシカ



アカエゾマツ林内

運動地に広がるアカエゾマツ林はまだ植樹して30年、40年しか経つておらず、寿命数百年と言われるアカエゾマツとしては若年で成長盛りの森と言えます。枝を伸ばし密になつた林内は薄暗く、林床に光が届かず、他の樹種にとつては生育しづらい環境となつています。

一方で、アカエゾマツ林が広がる岩尾別台地は羅臼岳のおろし風にさらされる場所です。アカエゾマツ林の防風効果を生かしながら、いかに広葉樹を育てるかが多様な森を育てる鍵となります。



アカエゾマツの森

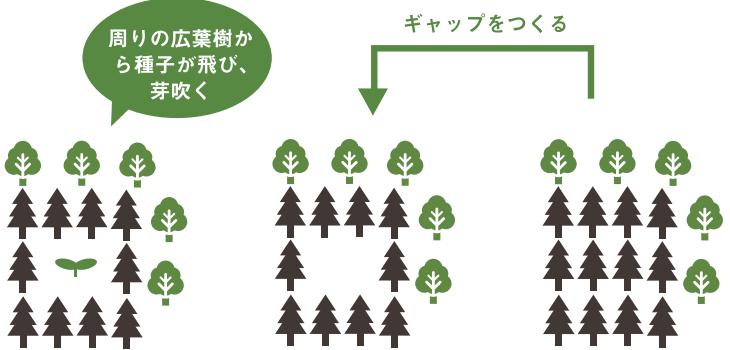
アカエゾマツの森に 光を届ける

◎ギャップをつくる

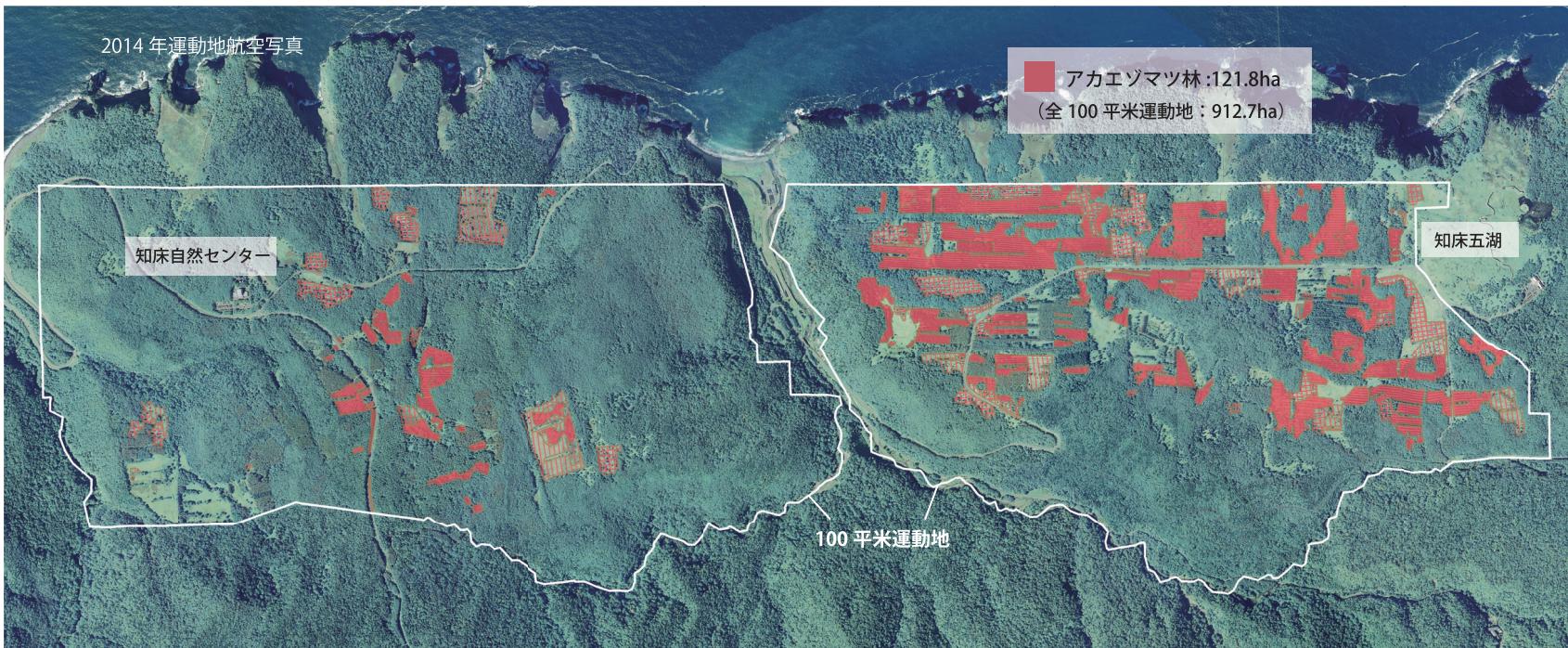
アカエゾマツ林を多様な森にするためには、他の樹種が入りこめるよう光が届くスペースを作る必要があります。そのため生育状況に応じて枝払いや間伐を実施しています。林内を徐々に明るくし、適度な光環境を創出しています。



自然かく乱を模したギャップ



冬場にしか入り込めない若いアカエゾマツ林で間伐するボランティアさん



【しれとこ 100 平方メートル運動】

かつて乱開発の危機にあった知床国立公園内の開拓跡地を全国から募った寄付金で保全し、原生の森を復元する取り組み。知床財団はこの運動の現地業務を担っている。



岩尾別台地のアカエゾマツの森。土の見えるところは人為的に作られた林間とギャップ

1977年にしれとこ100平
方メートル運動が始まって以降、
約16万本のアカエゾマツが植樹さ
れました。厳しい環境の中、成長
が思わしくない場所もありました
が、現在では約121ヘクタール
のアカエゾマツ林が運動地内にあ
ります。

当時アカエゾマツは列状に密で
植えられ、成長すれば防風効果が
期待でき、他の樹種の育成のサポー
トも期待されていました。

しかし、当時アカエゾマツとと
もに植樹された約20万本の広葉樹
は現在ほとんど残っていません。
原因は80年代初頭から増えだした
エゾシカによつて食べられたから
です。一方、エゾシカが好まない
針葉樹のアカエゾマツは食べられ
ることなく残り、現在運動地内に
はアカエゾマツだけの森が点在し
た状態となつています。それは私
たちが目指す針葉樹と広葉樹が混
ざり合う知床本来の森の姿ではあ

りません。ところが近年、環境省や林野庁が主体となつて実施しているエゾシカ対策により、エゾシカの脅威も弱まりつつあり、自然に育つ広葉樹も見られるようになりました。そこで現在、アカエゾマツ林を生かしながら、多様な森を育てるチャレンジが始まりました。今回はこの新たな森づくりの取り組みについてご紹介します。

森づくりの新たなチャレンジ —アカエヅマツの森を樹種多様な森へ—

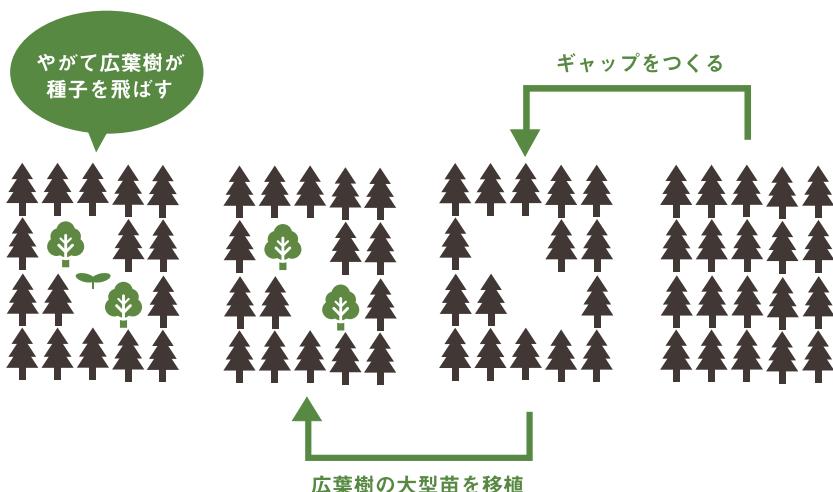
文二 田中慶子普及企画系

アカエゾマツの枝葉から 精油を抽出しています

近くに広葉樹がなかつたら？



ギャップを造成するために発生したアカエゾマツの間伐材を運動普及に役立てるため、今年から間伐した枝葉から精油の抽出を試みています。アカエゾマツは香りがよく、アロマオイルとしても人気があります。抽出してからアロマオイルとして利用できるまでには約3か月かかります。夏頃より知床自然センター館内とそれと100平方メートル運動ハウス内にて試験的にアロマオイルを設置し、来館者の方に「森づくりの香り」を楽しんでいただいています。



アカエゾマツ林の近くに広葉樹がない場合、人為的にギャップを造成しても自然な種子散布を期待することはできません。その場合は広葉樹をギャップ内に植樹し、種子の供給源とします。

ギャップに広葉樹大型苗を植える



スタッフ総出の移植作業！

広葉樹の大型苗の移植は、苗木の植え付けから植樹に至るまで毎年ボランティアさんに協力いただきながら実施している作業です。しかし今年は新型コロナウイルスの影響でボランティアさんの受入を中止せざるを得ませんでした。そうとなれば私たちだけでやるしかない！ということでスタッフ総出で大きな苗をアカエゾマツ林の林間に植樹する作業を行いました。ボランティアさんの存在がいかにありがたいか、しみじみと痛感しました。

アカエゾマツの森の樹種多様化のため、2009年より現在まで110本の広葉樹を植樹しました。エゾシカとの戦いは続きますが、植えた広葉樹が順調に育ち、何十年、何百年後に針葉樹と広葉樹が混ざった多様な森になることを目指してこれからも私たちは大型苗を植えていきます。



アカエゾマツの林間に植樹された広葉樹

植樹する広葉樹は防鹿柵内で育てられた大型苗です。枝葉がエゾシカの届かない高さにあるため被食される可能性は低く、さらに樹皮には保護ネットを巻きます。